

法研論集第153号寄稿原稿一覧

氏 名	学 年	論 文 題 目
姜 恩英	博士後期課程1年	国際海上物品運送人の責任制限制度における「包」および「単位」の意義（1） —英米判例の比較研究を中心として—
内藤 裕貴 (優先掲載希望者)	博士後期課程1年	経営判断原則の再考（1） —ドイツにおける経営判断原則の立法化を中心として—
ヤラシェフ ノディルベック	博士後期課程1年	独立前ウズベキスタンにおける事業体の概念の形成とその沿革 —イスラーム法、帝政ロシア法、ソ連法の比較を中心—
石川 真衣	博士後期課程2年	フランスにおける株式会社の成立と展開（4・完） —会社本質論への手がかりとして—
大塚 雄祐 (優先掲載希望者)	博士後期課程2年	我が国の判例にみる毀棄罪における「毀棄」概念の考察（1）
棚橋 洋平	博士後期課程2年	再建型倒産処理手続におけるスポンサー保護条項の処遇（4・完） —アメリカにおけるストーキング・ホース保護条項からの示唆—
平岡 克行	博士後期課程2年	米国における銀行と商業の分離規制の展開（3）
森下 之博 (優先掲載希望者)	博士後期課程2年	中国における計画経済期の賃金決定法政策の展開に関する考察（2・完）
李 世陽	博士後期課程2年	統一的正犯体系と共犯体系についての比較
安嶋 建	博士後期課程3年	経済刑法における事実の錯誤と違法性の錯誤（2・完） —禁止の特殊性を踏まえて—
今井 康介 (優先掲載希望者)	博士後期課程3年	Die Anstiftung und ihre Auslegung (2) : Erkenntnisse aus dem japanisch-deutschen Rechtsvergleich
三枝 功侍	博士後期課程3年	触法少年に対する重層的な健全育成化システムの考察 —学校教育行政システムにおける基本的な対応方法を中心として—
永井 紹裕 (優先掲載希望者)	博士後期課程3年	過剰避難の減免根拠と要件について（1）
滝谷 英幸	博士後期課程4年	「一連の行為」と因果関係（2） ——実体法と手続法の交錯領域の1つとして——
劉 佳溢	博士後期課程4年	イギリス海上運送契約法における荷受人の権利に関する判例・立法の展開（1） —荷受人の訴権問題を中心として—
木崎 峻輔 (優先掲載希望者)	博士後期課程5年	誤想を理由とする正当化と正当防衛状況の認定（1）